

砂の宝石、いかがですか？



風が冷たく、空気が乾燥していたある日。

園庭に出ると、教師が朝掘り起こした砂場の砂が、塊のままいくつも転がっていました。一番に塊を見つけた幼児が、友達に踏まれる前に大急ぎでバケツに集め始めました。

「見て！ いっぱいだよ。これ宝石なんだよ！」とうれしそうに言いながら、ベンチに並べて宝石屋さんを開きました。

宝石の大きさに合わせて値段をつけ、葉っぱのお金で友達とやり取りをしながら、宝石屋さんごっこを楽しみました。